

## T モバイル US(TMUS)

「米国で最も繋がりやすい 5G 通信」との評価を獲得。スプリントとの契約一体化による競合優位性を期待

ナスダック | 無線通信 | 業績フォロー

BLOOMBERG TMUS:US | REUTERS TMUS.N

- 2021/12 期 3Q (7-9 月) は、総収益が前年同期比 1.8%増、通信サービス収益が同 4.1%増、コア調整後 EBITDA が同 4.5%増と堅調に推移。
- 9 月末の後払いサービス契約者数が同 6.5%増の 1 億 692 万人への拡大、およびスプリント買収に伴うシナジー効果が業績向上に貢献。
- 「米国で最も繋がりやすい 5G 通信」との評価を獲得。スプリントとの契約一体化の進行により競合他社への優位性を増すと期待される。

### What is the news?

11/2 発表の 2021/12 期 3Q (7-9 月) は、総収益が前年同期比 1.8%増の 196.24 億 USD、純利益が同 44.9%減の 6.91 億 USD。ただし、デバイス販売などを除く通信サービス収益は同 4.1%増の 147.22 億 USD、昨年 4 月に実施のスプリント買収関連費用やその他一時的要因の影響を除く Non-GAAP のコア調整後 EBITDA は同 4.5%増の 60.41 億 USD、営業活動からのネット現金収入が同 25.4%増の 34.77 億 USD と堅調に推移。9 月末の後払い (ポストペイド) サービス契約者数が同 6.5%増の 1 億 692 万人へ拡大したこと、およびスプリント買収に伴うシナジー効果が業績向上に貢献した。

スプリント買収の影響を含む 3Q の主な営業指標は以下の通り。合計契約者純増数は前年同期比 35%減の 132.5 万人、前四半期比では 2%減となった。その内、後払いサービス契約者純増数は前年同期比 36%減の 125.9 万人。買収効果で前年同期に契約者数が一時的に増加した反動減となった。前払いサービス契約者純増数は同 18%増の 6.6 万人増だった。また、同じユーザーが複数の端末を保有する場合も加味した後払いサービスの 1 アカウント当たり月間平均収入 (ARPA) は、3Q が前年同期比 1.1%増の 134.54 USD。前四半期比でも 0.7%増となった。

### How do we view this?

通期会社計画を上方修正。後払い契約者純増数を 510-530 万人 (従来計画 500-530 万人)、コア調整後 EBITDA を前期比 4.3-4.7%減の 234-235 億 USD (同 230-233 億 USD)、買収シナジー効果を 32-35 億 USD (同 29-32 億 USD)、営業活動からのネット現金収入を同 61-62%増の 139-140 億 USD (同 136-139 億 USD) とした。

9 月末時点で同社の 5G 通信可能エリアは 3 億 800 万人をカバー。その中でも 400 メガバイト以上の超高速大容量を伴う「ウルトラ 5G」エリアが 1 億 9 千万人口をカバーし、年末までに全米で 2 億人に達する見通し。複数の独立系第三者機関の報告書で「米国で最も繋がりやすい 5G 通信サービス」との評価を受けている。また、スプリント契約者に係るトラフィックの約 90% が T モバイル US の通信ネットワークを経由し、スプリント契約者数の約 53% が T モバイル US の契約に完全移行済みであり、更なる両社の一体化により 5G 通信サービス普及および費用削減の両面で競合上位 2 社 (ベライゾン・コミュニケーションズおよび AT&T) に対して優位に立とう。

### 業績推移

※参考レート 1USD=115.14円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万USD)	43,310	44,998	68,397	80,065	82,255
当期利益(百万USD)	2,888	3,468	3,064	2,819	3,955
EPS(USD)	3.35	4.01	2.65	2.31	3.10
PER(倍)	34.47	28.79	43.57	49.98	37.25
BPS(USD)	29.02	33.53	52.62	55.03	57.41
PBR(倍)	3.98	3.44	2.19	2.10	2.01
配当(USD)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(出所: Bloomberg をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD)	0.00	(予想はBloomberg)
終値(USD)	115.46	2021/11/23

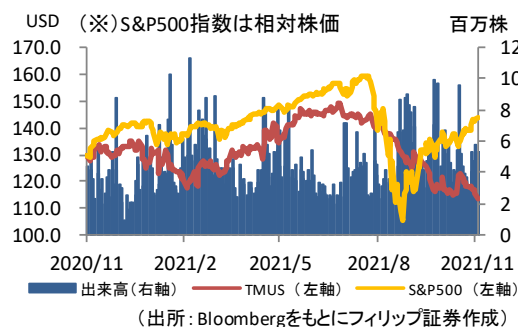
### 会社概要

1994年にボイスストリーム・ワイヤレス設立のデジタル携帯電話網に係る社内部門のボイスストリーム・ワイヤレスを前身とし、2001年にドイツテレコム傘下企業となった。2020年にソフトバンク傘下のスプリントを吸収合併。2021年9月末で携帯電話事業者として加入者数が1.07億人に達し、米国の通信キャリアは上位3社で契約数シェアの9割以上を占めるな中で、同社はベライゾン・コミュニケーションズ(VZ)、AT&T(T)に次いで米国第3位を占める。ポストペイド(後払い)、プリペイド(前払い)、および大企業向けのホールセール市場向けに音声、メッセージング、データサービスを提供する。

2021年9月末時点、同社の5G通信サービスは、エリアが3億8百万人かつ170万平方マイルをカバーしており、OpenSignal、Ookla、uMlaut、PC Magなどの独立系第三者調査機関による報告書でも米国で最も繋がりやすい5G通信ネットワークと評価されている。その内、秒速400メガバイト以上の高速・大容量の「ウルトラ・キャパシティ5G」が1億9千万人をカバーし、年末までに全米で2億人に達する予定である。

### 企業データ (2021/11/23)

ベータ値	0.84
時価総額(百万USD)	144,216
企業価値=EV(百万USD)	247,595
3か月平均売買代金(百万USD)	651.7



### 主要株主 (2021/11)

1. ドイツ・テレコム	46.75
2. ソフトバンクグループ	4.88
3. VANGUARD GROUP	3.48

(出所: Bloomberg をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。